令和8年(2026年)11月19日

6年生保護者の皆様

札幌市立藤の沢小学校
校 長　正武家 重治

令和8年度 全国学力・学習状況調査（6年生実施）の結果について

4月23日に実施いたしました「令和8年度 全国学力・学習状況調査」の結果の概要についてお知らせいたします。

なお、本調査は必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないことなどから、以下の結果分析は学力の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることをご理解いただきますようお願いいたします。

また、毎年2年生以上で実施している本校独自の「学力テスト」の結果も加え、同時に行われた児童への「質問調査」の結果も参考にし、子どもの健全な成長を支えていくことができるよう、取り組んでまいります。

日常の授業改善に加え、家庭・園での学習も学力定着の一つの機会と捉え、家庭学習を充実させることを重点に据える所存です。ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

	今回の調査における課題	改善の方向
国語	●（知識及び技能）「情報の扱い方に関する事項」 ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ●（思考力、判断力、表現力等）の「話すこと・聞くこと」 ・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考える。	○目的や意図を明確にし、複数の叙述や語句の関係を図示などにより整理することを通して、考えをまとめる学習活動の充実。 ○具体的な相手や目的を意識して、自分が伝えたいことの中心が明確になるように理由や事例などを挙げ、筋道を立てた構成を検討する学習活動の充実。
算数	●異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉で記述できる。 ●立方体の体積の計算による求め方について理解すること。 ●示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができる。	○通分を行うことで分数の大小を比較したり、加減の計算できたりすることを理解できるようにする学習活動の充実。 ○図形を構成する要素に着目し、立方体や直方体の体積が、縦・横・高さの長さを使って計算で求められることを理解できるようにする学習活動の充実。 ○日常の事象など様々な場面から必要な情報を読み取り、筋道を立てて考えたり説明したりする学習活動の充実。

児童質問紙の結果

全国と比較して、肯定的な回答が多かったもの

○毎朝同じくらいの時刻に起きていますか。
○学校の勉強のことについて、親や家族はどのくらいあなたと話しますか。
○学校での悩みについて、親や家族はどのくらいあなたと話しますか。
○人が困っているとき、進んで助けていますか。
○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがありますか。
○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。

全国と比較して、肯定的な回答が少なかったもの

●学校の授業時間以外に、普段1日当たりどのくらいの時間勉強しますか。
●学校の授業時間以外に、普段1日当たりどのくらいの時間読書しますか。
●自分にはよいところがある。

見解と今後に向けて

❶学校での出来事や学習について、家庭でよく話し合い、支えられていることが見えてきます。
❷他者意識をもち、時には協力し、時には助け合いながら楽しい学校生活を送っていることがわかります。
❸学校では意欲的に学習し、読書に親しんでいますが、家庭に帰ってからの学習習慣・読書習慣が十分に定着しているとはまだ言えない段階ということがわかります。

今後も自他のよさを認め合い、自信を深め、進んで力を伸ばしていける子どもの育成を目指し、一人一人を大切にした指導を行ってまいります。